



地域子育てネットワークだより

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県県民生活部男女青少年課

E-MAIL : daniioseishounen@pref.hyogo.lg.jp 電話 : (078) 341-7711 (内線 2780)

令和6年12月



スマホで婚活しませんか♪

兵庫県では、結婚を希望する独身男女の出会いを支援するため、「ひょうご出会いサポートセンター」を設置し、様々な出会いイベントの紹介や、個別お見合いによるマッチングのお手伝いをしています。

出会いイベントへの参加から気軽に始められる「イベント会員(あいサポ会員)」と、AIによる価値観マッチングやお相手検索、イベント参加など幅広いサービスでピッタリのお相手を見つけられる「お見合い会員(はばタン会員)」があります。

会員登録が可能な方



- ❖ 20歳以上の独身の方
- ❖ 兵庫県に在住・在勤、または将来兵庫県へ移住をお考えの方
- ❖ センターのシステムにアクセスできるスマートフォンをお持ちで、自ら支障なく操作ができる方
- ❖ メールアドレスをお持ちの方

2024年3月末時点で、
累計ご成婚数 2,128 組!

あいサポ会員



- ❖ 登録手数料 無料※
 - ❖ イベント情報を会員専用マイページやメールでご案内します。
- ※イベントやセミナーへの参加費用は必要です。

はばタン会員



- ❖ 登録手数料 5,000 円/年
 - ❖ スマートフォンでのお相手検索・お見合いが可能
 - ❖ AIによるお相手紹介機能でピッタリのお相手を紹介(水曜日配信 ※紹介のない週もあります)
- ★入会時に独身証明書、写真付き身分証明書の提出やオンライン面談を行い、結婚を望んでいる人だけが利用できるシステムなので、安心して活動いただけます。

【お問い合わせ先】ひょうご出会いサポートセンター

TEL : 050-1790-2805

開館日時 : 月・木・金 (12:30~19:30) 土・日 (10:00~17:00)



<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk16/jidoukan.html>

児童館・児童センターに遊びに行こう!

児童館・児童センターは**健全な遊びを通して**子どもの生活の安定と子どもの**能力の発達**を援助する拠点施設です。児童館には、**児童厚生員が配置**されていて、子どもたち一人ひとりの状態を観察し、個々のペースに応じて**自立できるよう支援**しています。

地域の子どもたちは、誰でも自由に児童館に遊びに行くことができます。

県内19市3町178館の児童館・児童センターにぜひ遊びに行きませんか?

施設の一覧は、兵庫県HPをご覧ください。↓↓↓

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk16/jidoukan.html>



応援ネットの活動紹介



声かけ・見守り活動などで子育て家庭を応援する「子育て応援ネット」の各地の取り組みを紹介します

相生市では、地域子育てネットワーク事業を推進するため、子育てネットワーク推進協議会を組織しています。

定期的に会議を開催して、各活動場所での気づき等を情報共有したり、どのような事業や支援を行うか協議しています。各校区内における**子育て家庭への見守り、声掛けや情報提供等**を実施し、地域の**つながりを大切にしながらの子育て支援**を目指しています。

5月には見守り活動月間を設け、放課後子どもたちの集まる公園でパトロールを実施し、危険箇所の確認も行っています。

また、11月には**児童虐待防止啓発活動を実施**し、推進母体の紹介も併せてチラシを作成し、各活動場所で配布しています。

子育てについて**親が一人で悩まないように**、気軽な相談相手になるなど、**地域ぐるみで支援**できるよう、これからも活動していきたいと思えます。



相生市子育てネットワーク推進協議会 会長 山崎 あすか

まちの子育てひろばの活動紹介



コープ子育てひろば ほしぞらリトミック

私達は、大人も子どもも**“のんびりほっこり出来る時間”**をテーマに、**地域に住む未就園の親子の方達と、月に1回活動**しています。

春と秋には、公園に出かけ、**シャボン玉やピクニックをして楽しいひとときを過ご**しました！また、**ベビータッチングケアの講師**の方をお招きし、家事の合間にできる**タッチングの仕方**や、おうちの方の**手の温もり**を通して、**お子さんは優しさや幸せを感じている**という素敵なお話をさせていただきました。



9月には、**ひろばアドバイザー**さんに来ていただき、**絵本の読み聞かせや風船遊び**を満喫しました。絵本の読み聞かせは、子ども達は**すぐ夢中になり、目をキラキラ輝かせて喜んで**いました。

今後も、子育て経験の有る無しに関わらず、地域の方々を交えて、**大人も子どもも楽しめる場所**であり続けたいと思えます。



ほしぞらリトミック 代表 小河都子

連載 第172回

「阪神淡路大震災と子どもたち」

県立こども病院名誉院長 中村 肇

阪神淡路大震災から**もうすぐ30年**になります。当時、災害が**子どもたちの心に大きな影響**を与えることが大きく注目されました。子どもたちは、災害の正体がわからず、自分で対処できる範囲も限られていたため、**より不安を感じていた**のです

こわい体験や喪失体験（親しい人との別れ、住居の損壊、生活環境の変化、おもちゃ・人形の喪失など）、あるいは**長期にわたる異常な生活環境**（避難生活、食生活・大気汚染など）によって、子どもたちに身体的な症状や行動上の問題が現れることを指す「**PTSD**(Post-traumatic Stress Disorder, 心的外傷後ストレス障害)」が、国民の間で広く知られるようになりました。

子どもたちは、**不安な気持ちを遊びの中で表現**したり、絵に描いたり、話をしたりすることで**心を整理**し、それが周囲の人々に受け入れられることで**異常な体験を過去の記憶として処理**していくことを私たちは学びました。

